

広島大学 D&I推進機構 アクセシビリティセンター

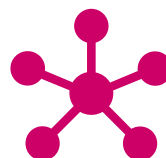
修学支援



人材育成



連携事業



Diversity × Accessibility = Potential

アクセシビリティセンターでは、修学上のアクセシビリティに関する助言・提案やリソースの提供、アクセシビリティ教育、リーダー人材の育成、ネットワーク事業を通じて、大学教育のアクセシビリティを推進しています。



Web <https://www.achu.hiroshima-u.ac.jp/>



アクセシビリティセンター

検索



広島大学

障害のある学生への修学支援



広島大学は、

- 「すべての学生に質の高い同一の教育を保障すること」
- 「成績・評価の公平性を担保すること」

を基本理念として、多様な学生の修学上のアクセシビリティ（参加しやすさ、利用しやすさ、学びやすさ）を支援しています。

広島大学の修学支援制度

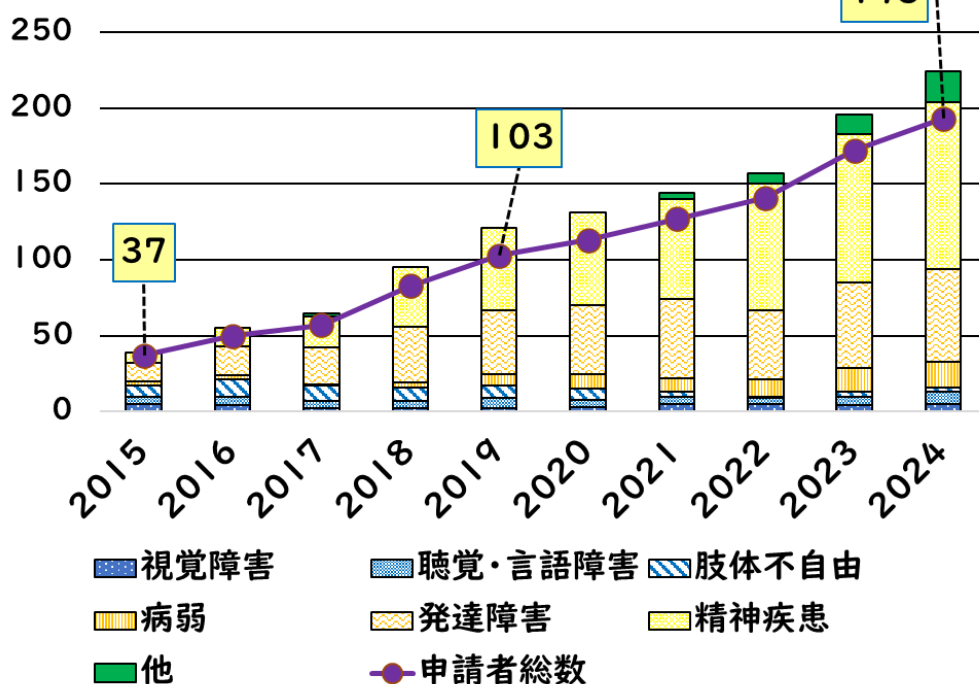
心身の機能等に障害があり、修学上の社会的障壁（困難・不自由）がある学生は、所属部局（学部・研究科等）に修学支援の申請を行うことができます。

支援申請の手続き



申請に必要な書類「①申請書 ②レポート ③診断書等のエビデンス資料」のうち、①②の資料は、アクセシビリティセンターが発行しています。修学支援の必要性を感じている方は、まずは、所属部局の支援室又はアクセシビリティセンターにご相談ください。

在籍支援申請者数の推移（広島大学）

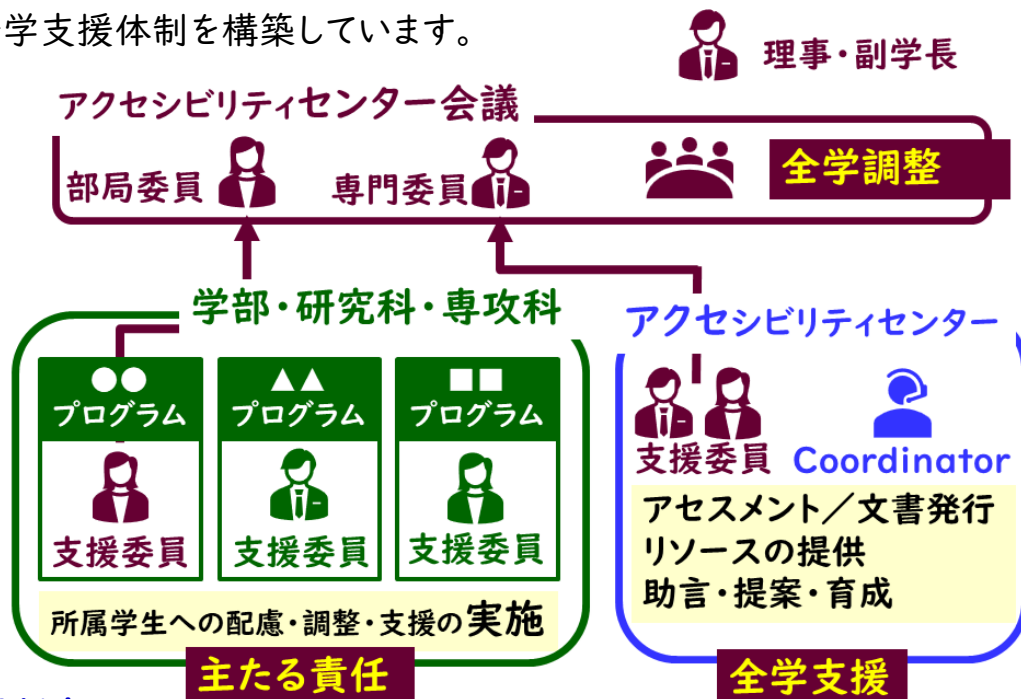


支援制度を利用する学生数は年々増えていて、その申請理由も多様化してきています。



広島大学の修学支援体制

広島大学では、修学支援を実践する関係部局・関係教職員が合理的に対応できるよう、全学支援体制を構築しています。



支援委員制度

各プログラムに1名、修学支援を担当する支援委員の先生がいます。また各部局に部局を代表する支援委員（アクセシビリティ推進会議委員）の先生がいます。プログラムの所属が決まっていない学生については、所属部局のアクセシビリティ推進会議委員が修学支援を担当します。

アクセシビリティセンター（助言・提案・リソース提供・教育・人材育成）

各部局における修学支援や全学的なアクセシビリティ推進の取組を、助言・提案・リソース提供によりサポートしています。またアクセシビリティリーダー育成プログラムを核とするアクセシビリティ教育、リーダー人材育成を通じてアクセシビリティを推進しています。

修学上の配慮・調整・支援

心身の機能等に障害に関連する修学上の社会的障壁を取り除くために、支援申請が受理された学生に対して、必要に応じて、合理的な配慮・調整・支援が行われています。

配慮依頼文書の通知

必要に応じて、学生の①所属プログラム支援委員②所属部局支援委員③アクセシビリティセンター支援委員の連名で授業担当教員や指導教員、関係教職員に「配慮依頼文書」が通知されます。配慮依頼文書の内容は、本人の同意の基にアクセシビリティセンターが作成します。

関係教職員による配慮・調整（例）

重要事項の文書伝達、教材・資料の配慮、座席・途中退席の配慮、指示・説明の配慮、指名・発表・協調作業に関する配慮・調整、コミュニケーションの配慮、手作業・歩行・運動・移動・更衣・施設利用に関する配慮・調整、性別の取り扱いに関する配慮、不安症状・体調不良・感覚過敏に関する配慮、履修相談、学習上の助言

アクセシビリティセンターが提供している支援（例）

情報整理・タスク管理・スケジュール管理に関する助言、遠隔字幕支援、学内移動支援、ノートテイク、実験の介助、学生メンターによる助言、授業資料の電子データ化・点訳・音訳、支援機器（ロジャー、拡大読書器、点字電子手帳、車椅子、ノイズキャンセリングヘッドフォン、デジタル耳栓、簡易スロープ、等）の貸与

試験の特別措置

公平な成績・評価を行うために、必要に応じて、試験の特別措置が実施されます。

入学試験の特別措置

入試の特別措置は、大学入学共通テストにおける特別措置を参考として実施されます。入試の特別措置を希望する志願者は、募集要項の記載に従って申請を行います。特別措置は内容によって準備や調整に時間を要する場合があります。募集要項に記載のある申請時期をよく確認して早めに相談・申請を行うことをお勧めします。

入試の特別措置を行うためには診断書等のエビデンス資料の提出が求められます。大学入学共通テストで提出した書類や「受験上の配慮事項審査結果通知書」の写しは手元に残しておくといでしょう。

期末試験の特別措置

修学支援申請が受理され、支援対象となっている学生は、必要に応じて、期末試験の特別措置申請を行うことが出来ます。「期末試験の特別措置申請書」は、本人の合意に基づいてアクセシビリティセンターが作成し、本人が所属部局に提出します。期末試験の特別措置の内容は、申請書の内容に基づき、授業毎に授業担当教員が検討し、必要な措置を講じます。

期末試験の特別措置例 試験時間の調整、問題用紙・答案用紙の調整（拡大、電子データ化、点訳、罫線、コントラスト、用紙の色、等）、座席の調整、途中退席の配慮、支援機器（拡大機器、スクリーンリーダー、拡大アプリ、補聴システム、下敷き、書見台、ノイズキャンセリングヘッドフォン等）の使用許可、別室受験（同室での措置が難しい場合）

学生支援者

アクセシビリティセンターでは、学生のアカデミックスキル・支援スキルに応じて、学生スタッフを雇用して、情報支援や学内での移動支援・生活支援、メンター支援など様々なサポートを行っています。



インターン

※1級AL資格取得者



サポーター

※2級AL資格取得者



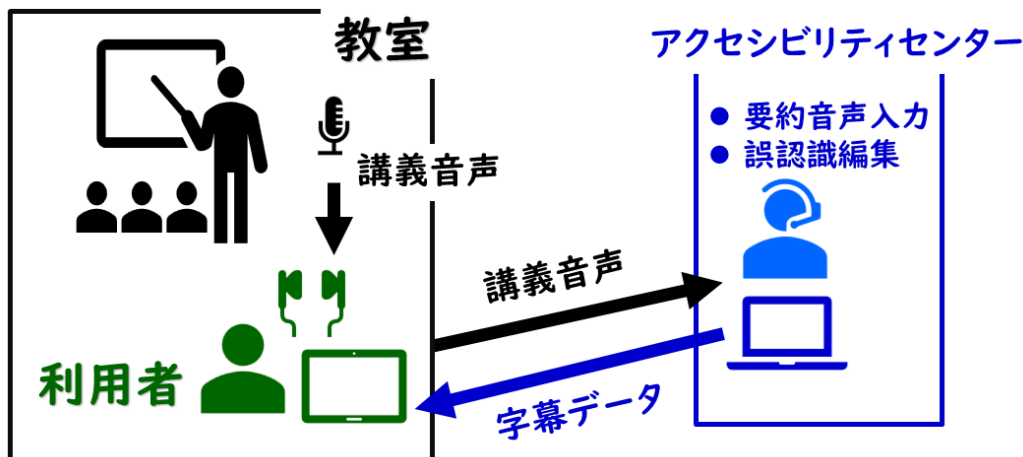
学生チューター

※学部・研究科等推薦

テクノロジーの活用 / 支援の自動化・ユビキタス化

アクセシビリティセンターでは、最新のテクノロジーを積極的に導入し、支援の自動化・ユビキタス化に取り組んでいます。

例)
音声入力による
遠隔字幕支援



アクセシビリティリーダー育成プログラム

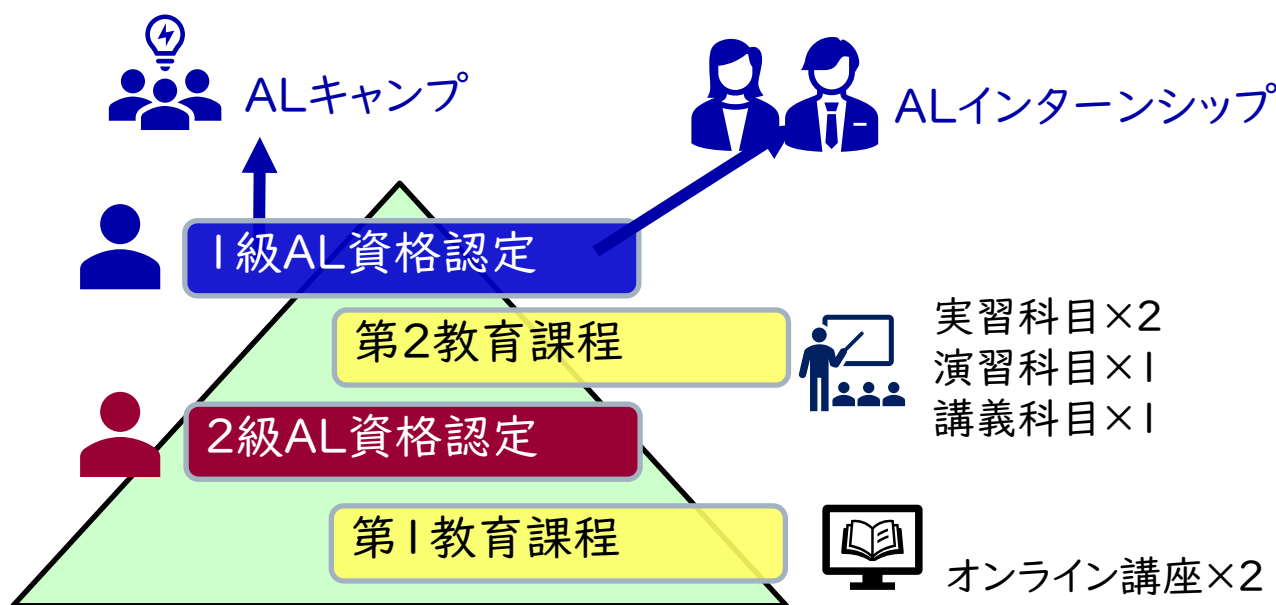


広島大学では、アクセシビリティリーダー育成プログラムを推進しています。

少子高齢化・グローバル化・高度情報化が顕著に進む現代社会では、様々な分野で、個人や社会の多様性をよく理解しアクセシビリティ推進により、可能性を開拓できる人材「アクセシビリティリーダー」が必要とされています。

アクセシビリティリーダー育成プログラム (ALP)

アクセシビリティリーダー育成プログラムは「教育課程」「資格認定」と資格取得学生を対象とした「キャンプ」「インターンシップ」で構成される、先進的なアクセシビリティ分野の人材育成・活用プログラムです。



アクセシビリティリーダー育成資格

アクセシビリティリーダー資格は、アクセシビリティリーダー育成協議会による認定資格で、1級AL（アクセシビリティリーダー）資格と2級AL資格があります。AL資格認定試験は例年、文科学省後援で実施されています。

1) 1級AL資格

第1教育課程・第2教育課程を修了して、1級AL資格認定試験（IBT※方式）に合格すると、所属大学の推薦を経て、1級アクセシビリティリーダー資格の認定がされます。※Internet Based Testing

2) 2級AL資格

第1教育課程を修了して、2級AL資格認定試験（IBT方式）に合格すると、所属大学の推薦を経て、1級アクセシビリティリーダー資格の認定がされます。

アクセシビリティ第1教育課程

第オンラインでアクセシビリティに関する知識・意識を習得します。オンライン講座は毎年改訂されMoodleで全学生・教職員に配信されます。

1. オンライン・アクセシビリティ講座20××・導入編（Moodleで配信）
2. オンライン・アクセシビリティ講座20××・基礎編（Moodleで配信）

アクセシビリティ第2教育課程

指定授業（教養2科目、専門2科目）を受講して、アクセシビリティに関する経験・技術を習得します。

3. 障害学生支援ボランティア実習A（教養・1単位）※1T or 3T 集中
4. 障害学生支援ボランティア実習B（教養・1単位）※2T or 4T 集中
5. 障害者支援アクセシビリティ概論（専門・2単位）※夏季（9月）集中
6. 現代アクセシビリティ研究（専門・2単位）※2T木3・4コマ or 夏季（9月）集中

アクセシビリティリーダー資格認定試験

例年12月の第1週・第2週の土日に、アクセシビリティリーダー資格認定試験を実施しています。広島大学の学生・教職員は無料で受験することが出来ます。試験はオンラインで実施されるため自宅で受験することが出来ます。

アクセシビリティリーダーキャンプ（ALC）

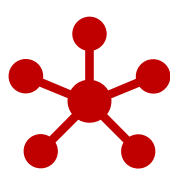
全国の大学でAL資格を取得した学生を対象として、「最先端の技術・取組を学び、未来を考える」をテーマに、開催される3日間の研修合宿で、例年9月・3月に開催されています。 ※定員があるため他大学の参加状況によって参加できる人数が変わります。

● ALC協力企業の例：日本マイクロソフト、富士通、日本IBM、イフ、TOTO、東京電力、大日本印刷、内田洋行、東京国際空港ターミナル、JALサンライト、オリエンタルランド、セコム、Panasonic、ヤマト運輸、LITALICO、マツダ、サンフレッチェ広島、広島市、フレスタホールディングス、共用品推進機構、おせっかい法人etto、アイリスチトセ、ジェイテクト

アクセシビリティリーダーインターンシップ（ALI）

1級アクセシビリティリーダー資格を取得した在校生が実践経験を積むことが出来るインターンシップが実施されています。アクセシビリティセンターの技術補佐員として雇用される学内インターンシップ、東広島市障害児余暇支援活動や附属病院に長期入院する高校生の学習支援等の地域貢献活動を行う地域インターンシップがあります。

連携事業



連携事業

アクセシビリティセンターでは、教育のユニバーサルデザイン化を推進する中四国地方を中心とした地域ネットワーク事業「UE-Net」、とアクセシビリティリーダー育成を推進する全国ネットワーク事業「アクセシビリティリーダー育成協議会 (ALPC)」の事務局運営を行っています。

UE-Net (教育のユニバーサルデザイン化推進ネットワーク)

ユニバーサルデザインを志向する教育機関・民間企業・行政機関・福祉機関が連携することにより、地域の初等・中等・高等教育のユニバーサルデザイン化を推進し、障害の有無に関係なく多様な児童・生徒・学生がその可能性を開拓できる修学環境・教育環境を育成することを目的として2015年に設立された、地域ネットワーク。事務局はアクセシビリティセンター内に設置されています。UE-Netでは中四国の大学が中心となり、リソースシェアリング事業を展開し、地域リソースの活用・育成と教育のユニバーサルデザイン化に取り組んでいます。

会員 (2025年3月現在)

<https://ue-net.jp/web/>



● 広島大学 (事務局)

徳島大学、高松大学、松山大学、鳥取大学、岡山大学、岡山県立大学、新見公立大学、島根大学、島根県立大学、福山大学、広島文教大学、広島県立大学、広島修道大学、山口大学、山口県立大学、広島県立視覚障害者情報センター、LITALICOワークス広島、unselfish、デコボコベース、ウェルビー、CHIMED、東広島市

アクセシビリティリーダー育成協議会 (ALPC)

全国でアクセシビリティリーダー育成プログラムを推進するために、2009年に産学官連携により設立された協議会。広島大学で2006年度にスタートしたALPIは、AL育成協議会によりオープン化され、現在は、全国の大学・企業でALPが実施されています。

2025年3月現在 全国27大学2企業2行政機関がALPCに参画しています。事務局はアクセシビリティセンター内に設置されています。

協議会会員 (2025年3月現在)

<https://al-pc.jp/web/>



● 広島大学 (幹事・事務局)

● 日本学生支援機構 (幹事)

茨城大学、東京科学大学、東京農業大学、信州大学、長岡技術科学大学、富山大学、三重大学、京都外国語大学・短期大学、京都文教大学・短期大学、大阪教育大学、大阪大学、関西学院大学、神戸大学、徳島大学、香川大学、高松大学、鳥取大学、岡山大学、広島文教大学、広島国際大学、広島修道大学、山口大学、九州大学、長崎大学、宮崎大学、琉球大学

協議会協力団体 (2025年3月現在)

富士通、イフ、東広島市

お問い合わせは・・・

広島大学アクセシビリティセンター



〒739-8514 東広島市鏡山1-7-1 学生プラザ2階

TEL&FAX:082-424-6324

メール:achu@hiroshima-u.ac.jp

ホームページ:<https://www.achu.hiroshima-u.ac.jp/>

AL育成協議会ホームページ:<https://al-pc.jp/web/>

UE-Netホームページ: <https://ue-net.jp/web/>

アクセシビリティセンター

検索

